

愛汗大志



令和元年 10月17日(木)
南城市立知念中学校
校長 垣花 英正



○一次産業体験学習

10月8日(火)～10日(木)、一学年が第一次産業体験学習を行いました。

「第一次産業体験を通して、地域の自然・歴史・文化・産業について学び、地域に誇りと自信を持たせる。」ことが主なねらいです。

13カ所の事業所や農園等に生徒を受け入れていただき、体験学習を行うことができました。生徒の感想を紹介します。

古謝志侑さん(奥武島海産物食堂)

三日間の体験学習で、印象に残ったことや難しかったことは、魚のうろこ取りの時に、最初はなかなかできなかつたけれど、二日目、三日目と時間が経っていくにつれてコツをつかんできて、上手になっていったことです。そして、お客様との接客の仕方も知ることができたので良かったです。このことをきっかけに、将来のことを考えて行ければと思います。

奥間友菜さん(あおぞらニライカナイ牧場)

印象に残ったことは、「馬の世話の大変さ」です。一日目 20分の草刈りをして、とても大変でした。また、馬のエサ作りは豆腐がグチャグチャになるくらいつぶさないといけないので、とても手が疲れました。私はやってないのですが糞の掃除を毎日するのもきついと思い、仕事の大変さを学びました。また、乗馬体験をすることができて良かったです。



○職場体験学習

一年生と同じ日程で、二年生は職場体験学習を行いました。

「自分が興味を持っている職業について調べたり、体験したり、それらをまとめたりすることによって、将来の夢や希望に向かって行動できるようにする。」ことが主なねらいです。

16カ所の事業所に生徒を受け入れていただきました。生徒達は、これまで調べてきたことやマナー講習会で学んだ事を活かしながら、熱心に体験学習を進めました。生徒の感想です。

前城琉空さん(知念小学校)

職場体験で印象に残ったことは、後輩にあたる児童達と一緒に給食を食べたり、昼休みに一緒に遊んだりしたことです。小学校の先生達の仕事は、授業を教えるだけでなく台風とか自然災害の掃除とかもするということがわかりました。いろいろ

な後輩達と仲良くなれたし、最近来た先生達の名前も分かったので良かったです。授業中は、後輩達のプリント、ワークの丸つけなどをして、休み時間は一緒に遊んだりしてとても楽しかったです。もし他の所で後輩達と会ったら、また一緒にサッカーとかをして遊びたいです。

舟久保愛美さん(知念あさひ保育園)

三日間の職場体験で、保育士のやりがいや苦勞、大変さがわかりました。まず、子ども達と遊んでいるとき笑顔で遊んでいるのを見たら嬉しくなったので、その時にやりがいを感じると思います。また、お昼寝中もおたより帳を書かないといけないので、休む暇がなくて大変だなと思ったし、お昼寝をした後、「もっと寝る」と泣く子もいて、その子を起こすのも一苦勞だなと思いました。保育士は、子どもの命を守るという責任があつて大変だけど、やりがいのあるいい仕事だと思いました。



生徒を受け入れてくださった事業所の皆様、ありがとうございました。

○数学研究授業

10月4日(金)、島尻教育事務所から指導主事をお招きして、数学科の研究授業を行いました。3年1組で授業者は、西里和子先生です。

二次関数の最初の授業で、実験のデータについて計算機を使って計算したり、規則性などについてグループで話し合ったりして予想を立て、それを発表するという生徒がたくさん活動する授業でした。

授業終了後は、数学科の先生達が授業についての研究会を行い、成果や改善点などを話し合いました。そして、指導主事による指導助言を受け、授業力の向上について確認しました。

なお、小中連携の一環で今回の授業には知念小学校の先生も数名参加してもらい、貴重なご意見もいただきました。来週は、知念中の先生が知念小の授業を参観する予定です。



